

有田市図書館 Tel.82-3220



図書館通信 ～本と楽しいライブラリー～

さくらのかおる季節です。
 図書館でも季節を感じるテーマ展示をしていますので、ぜひお越しください。



まえの あや 前野 彩 / 著 日経BP社

「教育費&子育て費 賢い家族のお金の新ルール」

子育てにかかるお金のこと、心配になりますよね。ママとパパの働き方やお金のノウハウを、マンガやイラストつきでわかりやすく解説しています。親世代とはまた違う教育費の話を教えます！

「本とあそぼう!全国訪問おはなし隊」来館

キャラバンカーに児童書を積み込んで全国各地を訪問中の「おはなし隊」が来てくれます。

日時 4月30日（月・祝）
 14時30分～15時 キャラバンカー見学
 15時05分～15時35分 おはなし会
場所 市民会館駐車場・図書館内わくわくのもり
対象 小学校低学年位までのお子さん
参加費 無料
申込 4月20日（金）9時30分～

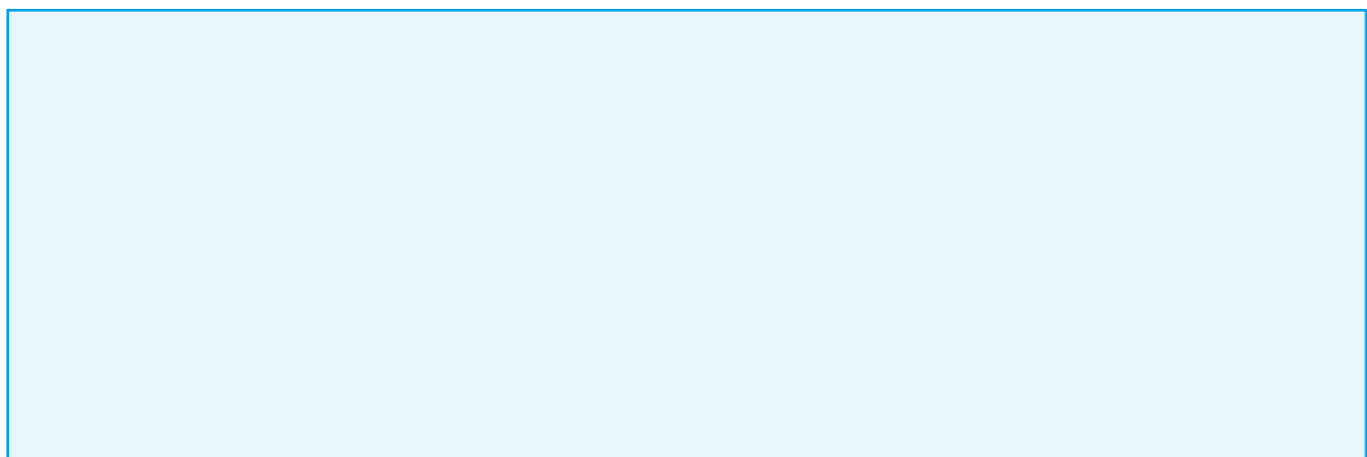
イベント

- ★**どうようえいがかい**（こども向け）
 4月7日（土）13:30～
 「おじゃる丸 銀河がマロをよんでいる」
 場所 市民会館1階第1会議室
- ★**水曜映画会**（おとな向け）
 4月11日（水）14:00～
 「猫侍」
 場所 市民会館1階第1会議室

- ★**こども読書の日事業**
ダグラスのおはなし(ない)会
 (5歳くらい～)
 4月21日（土）14:00～
 場所 わくわくのもり
 内容 クイズにこたえてしおりをゲット！
 申込 4月11日（水）9:30～
 定員 20名
- ★**こども読書の日事業**
アリッサのおはなしかい
 (乳幼児～就園前くらい)
 5月3日（木・祝）10:30～
 場所 わくわくのもり
 内容 読み聞かせ、おおきなあれはらぺこあむし！
- ★**こども読書の日事業**
読聴読聴音読会（おとな向け）
 4月23日（月）14:00～
 場所 図書館グループ学習室

定員 10名
 ※事前申込受付中です。
 詳しくは図書館まで。

広告



Hospital Topics ～有田市立病院～

■麻酔科を新設しました

4月より、麻酔科常勤医として仲谷憲医師が着任し、新たに麻酔科を設置しました。麻酔科では手術室麻酔を中心に、皆様の安全・安心・安寧を第一に考え、患者様の状況・手術の内容・術後経過を考慮し最適な麻酔を提供します。



■常勤の小児科医が着任しました

4月より、小児科常勤医として井庭憲人医師が着任しました。



昨年10月より不在であった常勤小児科医が年間を通して勤務することとなり、小児入院の受入体制を強化します。

また、小児アレルギーに特化した外来の開設に向けて準備を進めています。

■健康講座のご案内

前回の健康講座でも好評をいただきました。理学療法士による講義と体操を行います。



皆様のご参加をお待ちしています。

◇第6回講座

日時 4月11日（水） 14時～15時
場所 市立病院整形外科外来前
テーマ 『ひきふた』ハシリ体操
講師 奈良岡 隆也（理学療法士）
問 医務課庶務係

Tel.82-2151

無料そうだん

■**市民法律相談** ※予約制
日時 4/17(火)・5/15(火)
 13時～16時20分
場所 市役所3階会議室
 ※弁護士は月替わり
 ※定員10名
問 市民課（内線244）

■**合同相談**
日時 4/12(木)・5/10(木)
 13時30分～16時
場所 文化福祉センター
 行政相談委員 石井志通男
 吉川かよ子
 人権擁護委員 くりやまひとみ
 (4月)堤敏明・栗山仁美
 (5月)高垣明子・宮本直樹
問 市民課（内線244・368）



■**教育相談**
日時 平日9時～
場所・問 教育委員会（内線512）

■**青少年相談**
日時 平日8時30分～
場所・問 青少年センター
 Tel.0120-783-782
 Tel.82-3591

■**家庭児童相談**
日時 月～木 ※平日のみ
 9時～16時
場所・問 家庭児童青少年相談室
 Tel.82-3711

■**消費生活相談**
日時 毎週月曜日 ※平日のみ
 13時～16時
場所 市役所2階
 人権相談室
 ※電話相談可
問 産業振興課 Tel.83-0225

箕島の今昔ものがたり

第1回：昔のちらし?引札!

郷土資料館では、この秋に明治～大正期における箕島の人々の暮らしについて、特別展を開催します。「明治・大正期の箕島には、どんなことがあったん?」「いま使っている日用品って昔はどんなん?」などにスポットを当てた展示を予定しています。特別展に向けて毎月連載し、前半は明治～大正期の箕島ではどんな暮らしをしていたのかを紹介していきます。

第1回は、「引札」を紹介します。「ひきふた」ってなによ?と思われるですね。「引札」とは今でいう「ちらし」を指します。「引く」ということが「まねく、ひきよせる」ことを意味しているため、その名がついたといわれています。驚くことに引札は、当時、店主が正月のあいさつも兼ねて家を訪ねて配ったといえます。色鮮やかな引札は、子どもたちに大人気で壁に張っている家もあったようです。箕島にも多くの引札が、伝わっています。絵柄に凝った当時の粋な商人は、引札で心を惹き、お客を引き、人々の暮らしを引き立てたのでしょ

広告

